

田根小学校からの報告

活動団体名： 田根小学校 4年生

活動人数： 10人（教員1名）

取組時間：総合の時間

調査内容 1回目：6月3日（金）学校の西の川 晴れ 2回目：7月1日（金）学校の西の川 晴れ

今回も講師として元湯田小学校の杉山先生に来ていただき、生き物の探し方や網や箱眼鏡などの道具の使い方を教えていただきました。水は思ったより冷たく流れもやや速かったので初めは驚いていましたが、すぐに慣れて一生懸命川底の砂をすくい、水生生物を探してしていました。道具の使い方は、初めて使うものもありましたが、すぐに使い方を覚えて上手に使うことができました。なかなか生き物が見つからなかったため、杉山先生のアドバイスを受けて石の裏や川の底のくぼんでいるところを探すと、少しずつ生き物が見つかりました。すくった砂や小石を詳しく探してみると、次々に生き物が見つかりました。何もいないかと思われていた川もよく見ると小さな生き物がいました。二回目の調査では、前回の経験を踏まえて今回はスムーズに準備、採取ができました。前回と比べると採取した生物の種類に変化がありました。前回よりも魚がたくさん泳いでいて、目で見ても分かるくらいいろいろな生き物がいました。見つけた生き物を顕微鏡で拡大してみると、生き物の特徴がより詳しく分かり、子どもたちから驚きの声があがっていました。



調査員の感想

- ・知らない生き物がたくさんいました。けんびきょうで観察するとはっきり見えて色や形がわかりました。これからもけんびきょうで観察したいです。
- ・わたしは、のびたり、ちぢんだりする生き物をつかまえてくわしく調べたらウマビルの種類と気づきました。初めて見たいきものなのでびっくりしました。
- ・生き物で川の水がよごれているかよごれていないかが分かることを知りました。

捕まえた生き物たち

一回目は、スジエビやザリガニ、シジミ、プラナリア、ヘビトンボなどいろいろな生き物を見つけました。

二回目は、1回目と同じように、何もいかなと思われた川にもトビゲラ、ウズムシ、ヨコエビ、ユスリカ、タニシ、ヘビトンボなどがいて、ぱっと見ただけでは分からない小さな生き物がたくさんいることが分かった。



調査のまとめ

今回の水質調査で、川の中の生き物を調べて観察する体験を通して、子どもたちは、身近な小さな生き物に興味、関心をもち、子どもたちが、楽しみながら環境について考えることができました。自分で見つけて採集した生物を興味深く図鑑で探し名前を調べる姿から、体験的な学習の大切さを感じました。川の透明度で水のきれいさが違うことは何となくわかってはいても、そこで見つけられる水生生物の種類の違いで川の水のきれいさがわかるという体験は子どもたちにとって新鮮だったようです。これからも、生き物が安心して棲める川や田根学区の自然を、自分たちの手で守っていかなくてはならないという思いを、新たにすることができました。みずすましの体験を通して川に興味を持ち、人の生活のためにも生き物のためにも、川をきれいにすることが大切ということに気づくことができました。外部の講師の先生から水生生物を調べるだけでなく、身近な生活と川の生き物の関わりについての話をいただき、環境問題についても目を向けることができました。



活動の様子

【活動の様子】



【仲間分けの様子】



【講師の先生の説明】



【イトトンボのヤゴ】



【カワニナ】



【まとめの様子】

